

防犯ボランティア団体に対するアンケートについて

1 アンケート概要

目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊川市では、令和6年度に防犯対策・犯罪被害者等の支援・再犯防止に関して、市等が実施する施策を総合的かつ計画的にする推進するための計画を策定予定。 ● 本調査は、当該計画を策定する際の基礎資料とすることを目的に実施。
方法	郵送配布 郵送・直接持参・メールにて回収
対象	市内ボランティア34団体 ※代表者または事務局に送付
調査期間	令和6(2024)年2月21日(水)～同年3月15日(金)
回収数	34件 100%

2 アンケート結果

問 2 構成員の人数については31団体が回答（3団体は不明等と回答）。最小9人、最大205人、合計人数は31団体で1,990人

問 16 地域住民が犯罪被害にあわないために必要と思う対策（複数回答可）は、「自宅窓への対策（44%）」が最も高く、次いで「自宅玄関への対策（38%）」「日頃から、家族や近所の人と防犯について話しあい、意識を高める（38%）」「固定電話を留守電設定にして不明な電話番号からの着信に出ない対策（38%）」

問 18 団体が活動を継続する上で抱えている課題（複数回答可）は、「隊員の高齢化（82%）」が最も高く、次いで、「後継者不足（62%）」、「隊員の減少（44%）」。

問 19 防犯ボランティア団体が活動する上で行政や警察のどのような支援が必要か（複数回答可）は、「活動参加者を増やすための働きかけ（74%）」が最も高く、次いで、「犯罪発生情報の提供（47%）」、「活動参加者の育成・指導（44%）」。

問 22 犯罪のない豊川市の実現に向けて特に必要だと思う取り組み（複数回答可）は、「市・警察の防犯パトロールの強化（68%）」が最も高く、次いで、「地域・通学路等の公共空間への街頭防犯カメラの設置促進（65%）」、「防犯灯など街灯の設置促進（50%）」、「地域の防犯ボランティア団体、連区、町内会等への支援充実（47%）」。